

災害義援金へのご協力ありがとうございます

日本赤十字社富士見町分区 富士見町赤十字奉仕団（住民福祉課社会福祉係 ☎62-9144）

災害義援金の募集に多くの方のご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。
平成29年度中に実施した災害義援金募集結果をお知らせします。



日本赤十字社
人間を救うのは、人間だ。
Our world. Your move.

これまでお寄せいただいた義援金（累計）（平成30年3月31日現在）

・東日本大震災	16,303,882円
・平成28年熊本地震災害	1,162,704円
・平成29年7月5日からの大雨災害	36,472円
・平成28年新潟県糸魚川市大規模火災	20,406円（受付終了）
・平成29年台風第18号災害	8,844円（受付終了）
・平成29年台風第21号災害	5,856円（受付終了）

引き続き、役場1階ロビーに募金箱を設置しておりますので、今後とも温かいご支援をお願いいたします。
お寄せいただいた義援金は、被災地に設置される災害義援金配分委員会を通じて全額被災者に配分されます。

「日赤活動資金」と「災害義援金」との違いは？

「日赤活動資金」

災害救護活動や救急法講習会、地域の奉仕団活動など、災害時だけでなく平時のいのちを守る活動にも役立てられています。

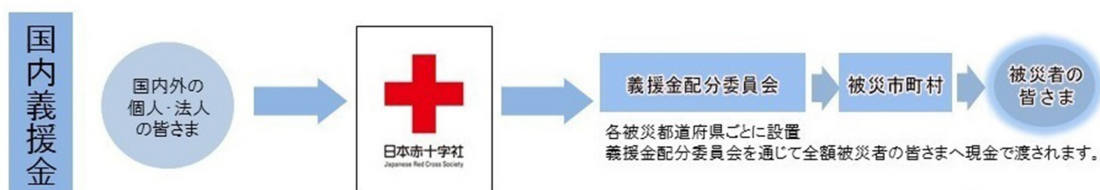
赤十字活動資金の流れ



「災害義援金」

被災地に設置される災害義援金配分委員会を通じて、全額災害により被災された方々に届けられます。

国内義援金の流れ



子育てはたくさんの笑顔とたくさんの手で ～子どもの場所から～

NPO法人ふじみ子育てネットワーク ☎62-5505

民生児童委員の皆さんとあたたかいひととき



4月18日(水)に開催した「AiAiカフェ」は、毎年恒例になっている「世代間交流」の機会として、民生児童委員母子児童部会の皆さんと主任児童委員の皆さんをお招きし行いました。AiAi利用者さんと一緒に、テーマ「子どもが小さい時の子育ての大変さ、どうやって乗り越えましたか？（乗り越えていますか？）」について語り合っていました。

参加者はAiAi利用者も含めて30人近くで、4グループに分かれておしゃべりしました。AiAiの和室は大声で話さないと聞こえないくらい、皆さんのおしゃべりで盛り上がりしました。

児童委員の皆さんが乳幼児の子育てをされていた時も、主に子育てを担っていた女性の方は皆、今と同じ、仲間を求めてサークルを探したり、母親同士で子育てグループを作ったりと、「孤育て」にならない工夫をされていたそうです。また、男性からは、なかなか子育てに関われなかったが子どもが小学生になる頃には山や川にあそびに連れて行った、子ども達には外で遊んで来い！と言って外でたくさん遊ばせた、等のお話がありました。あるグループでは、児童委員の方が現役世代の子育ての悩みにアドバイスをしてくださる場面もありました。

世代は違えど子育ての悩みは共通する点が多く、だからこそ、このように実際におしゃべりすることで、先輩方の苦勞や現役世代の現状それぞれに共感でき、私たちスタッフは子育て支援事業の必要性、子育てひろばAiAiの存在意味を皆さんにお伝えできます。今回も充実したAiAiカフェ「世代間交流」となりました。